

2025（令和7）年度 優秀卒業論文賞 総評

優秀卒業論文賞選考委員会 委員長 教授 田村八十一

優秀論文賞は、「卒業論文の中から、優秀なものを選び表彰することにより、その努力に報いるとともに、他の学生に対して、大学における研究成果やゼミナール活動の意義や重要性を認識させ、これを活性化するため」に設けられました。

2025（令和7）年度の優秀卒業論文の選考対象は、今年度に卒業論文として提出されたものの中から指導教員より推薦された卒業論文です。21編の論文が各ゼミナールの指導教員から優秀卒業論文賞の候補として推薦されました。その内訳は、商業部門5件、経営部門7件、会計部門2件、総合部門7件でした。

本学部の大学教員の中から今年度の優秀卒業論文選考委員会が組織され、厳正な「優秀卒業論文賞の審査基準」に基づき選考を実施しました。

その結果、特に優れた優秀卒業論文である最優秀卒業論文賞を、商業部門、経営部門、会計部門、総合部門のそれぞれ1名が受賞しました。これらは、観光をテーマにした論文が2編、リーダーシップ論をテーマにした論文が1編、DXにかかわる税理士の役割をテーマにした論文が1編です。また優秀卒業論文賞の受賞者は17名でした。

歴史研究なども含めて卒業論文のテーマは多様ですが、近年、問題になってきているテーマを取り上げた卒業論文が比較的多い傾向が見られました。なお、それぞれの最優秀卒業論文の講評に加えて、最優秀論文賞および優秀卒業論文の要旨が、別途、商学部のサイト（「優秀卒業論文賞」）で公開されています。

これらの優秀卒業論文は、鋭い問題設定、適切な文献の選択や先行研究の検討、明晰な論理展開、文献・資料・調査の精緻な分析がなされた優れた論文といえるものです。そして、優秀卒業論文は、大学生として日頃から考えを巡らせ、問いを発見し、その問いに対する解明の試みを様々な知見も駆使しながら論理的に展開して導き出した結論を、自己の外に文字として客観的に外化・定着させて完成されたものです。それは、世界の大学生が身につけていく「アカデミック スキル」を踏まえて、受賞者が、大学4年間を通して、常日頃から努力してきた研究の集大成としての成果といえます。

受賞者は、卒業式の日にある学位記伝達式において表彰されることとなります。

また、受賞論文は、3年間にわたり、日本大学図書館商学部分館において公開されることとなりますので、商学部の学生の皆さんは、是非、同図書館で受賞した卒業論文を一読してみてください。